

社会福祉法人 光寿会

2020年11月16日(1)

まんさく

第259号

発行

特別養護老人ホーム光寿苑

まんさく編集委員会

和賀郡西和賀町湯本30-76-1

TEL 0197-84-2526

koujhu@fancy.ocn.ne.jp

題字 元理事長 太田 祖 電



今年も西和賀に初雪が舞い降りました

〔11月4日撮影〕

お年寄りの暮しのよりよい事を探し続けます

【事務】「①事務部門」 ☆氏家洋也☆

法人キー ワード		2020年度共通のキーワードは『観る』	
2020年度上半期のイメージ	テーマ	様々なことに観る姿勢を持ち、生きた言葉を交わそう	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		会話をしている相手の方の表情を観る	価値観の違いを認め合って相手の良い点を観る目を持ち、前向きになれる言葉を交わす。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①話し掛けられた時など相手の気持ちを考えることも含め、その方の表情をきちんと観て会話するよう心掛ける。		①裏表のない姿勢で、相手を偏った見方や先入観で観ていないか。常に自分と向き合っていく。 ②自分自身の言葉や行動が観られていることを忘れずにお年寄りやご家族に、また職員へも接していく。



2020年度上半期検証	<p>『目標①の①について』 ⇒面会対応で、家族と接する時間が多くなった中、家族の方のお年寄りへの想いを身近に感じることができた。また、必要なことは会議等で話し合いを持つことができた。</p> <p>『目標②の①について』 ⇒目標を踏まえて行動したが、新型コロナウイルス対応では、家族とのやり取りや職員同士の温度差の違いに戸惑いを感じたりした。</p> <p>『目標②の②について』 ⇒自身の思いや考えが先行し、伝え方が悪い時があった。一旦立ち止まり考え、相手の意図をしっかりと確認し、相互理解で同じ方向に進めるようにしたい。</p> <p>【結論】 上半期と同じ目標で下半期も臨みたい。</p>
-------------	--



2020年度最終的イメージ	テーマ	様々なことに観る姿勢を持ち、生きた言葉を交わそう	
	理想像 下半期	目標 ①	目標 ②
		会話をしている相手の方の表情を観る	価値観の違いを認め合って相手の良い点を観る目を持ち、前向きになれる言葉を交わす。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①話し掛けられた時など相手の気持ちを考えることも含め、その方の表情をきちんと観て会話するよう心掛ける。		①裏表のない姿勢で、相手を偏った見方や先入観で観ていないか。常に自分と向き合っていく。 ②自分自身の言葉や行動が観られていることを忘れずにお年寄りやご家族に、また職員へも接していく。

コロナ禍と人手不足という苦難が続く中でも

【生活】「④介護部門…湯の町地区」 ☆高橋文子☆

法人キーワード		2020年度共通のキーワードは『観る』	
2020年度上半期のイメージ	テーマ	お年寄りの表情を観る	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		楽しい時間を創ろう 〔五感に触れる〕	四季折々の景色を観せていこう 〔五感に触れる〕
具体的な取組み どのよう、何を、	① 安楽な姿勢で食事を摂れるようにする。 ⇒ テレビを消し、音楽を聴きながら食事する事で楽しく食事が摂れる。 ⇒ ベッド上での食事の際も、端巻きタオル使用で、ゆっくり楽しく食事が摂れる。 ② 楽しく入浴して頂き、お年寄りの笑顔が観れる。 ⇒ 「特浴」から『個浴』へ… ⇒ お年寄りがゆったり入浴できる。 ③ 「お楽しみ会」を企画する。 ⇒ お年寄りの笑顔の表情を観れる。		① 外の景色を観に行く。 ⇒ 春夏秋冬を感じられる外出 1) 少人数でのドライブ 2) 苑庭の周りの散歩 ⇒ 花・草・山菜を「観る」「触れる」事で、四季を感じる事ができる。 ② ベッド上で過されているお年寄りを短時間でも外に誘導 ⇒ 外気を感じる。 「感じる事で春夏秋冬に触れる」



2020年度上半期検証	<p>『目標①の①について』 ⇒ 音楽を聴きながら…は出来たが、果たしてお年寄りの方々は楽しい食事になっているかどうかは不安を感じる時がある。 [TVを観ながら食べたい方もいる。一律に、これはこう！あれはあれ！と決めなくてよいのではないか。]</p> <p>『目標①の②について』 ⇒ 特浴の方が増えてきているが、個浴から変更になった事でゆったり入れている方もいる。 ⇒ 職員目線で捉えている感もあったと思う。[特浴で入りきれないから個浴へ等] ⇒ ゆっくり入浴されているか疑問に思うことがあった。</p> <p>『目標①の③について』 ⇒ 花見、各居室での誕生会等、職員少ない中でも努力し、お年寄りに喜んで頂けたと思う。</p> <p>『目標②の①について』 ⇒ コロナ禍でのザワザワ感もあり、職員の想いがそこにいたらなかった。 ⇒ ドライブこそできなかったが、苑庭の散歩等はできた。</p> <p>『目標②の②について』 ⇒ 1日1回ベッドから離れる努力はしたものの、できない事が多かった。</p> <p>【結果目標】 上半期と変わった箇所は字体を丸ゴシックに変更して掲載。</p>
-------------	--



2020年度の最終的イメージ	テーマ	お年寄りの表情を観る	
	理想下半期	目標 ①	目標 ②
		楽しい時間を創ろう 〔五感に触れる〕	四季折々の景色を観せていこう 〔五感に触れる〕
具体的な取組み どのよう、何を、	① 安楽な姿勢で食事を摂れるようにする。 ⇒ テレビでも音楽でも、その日の気分で決めて頂き、楽しく食事が摂れる。 ⇒ ベッド上での食事の際も、個々に合ったポジショニングでゆっくり楽しく食事が摂れる。 ② 楽しく入浴して頂き、お年寄りの笑顔が観れる。 ⇒ 特浴でも個浴でも、その方に合った入浴スタイルでゆったりできる。		① 外の景色を観に行く。 ⇒ 春夏秋冬を感じられる外出 1) 少人数でのドライブ 2) 苑庭の周りの散歩 ⇒ 「観る」「触れる」事で、四季を感じる事ができる。

大らかに広く世間を見渡していた師匠逝く



高橋勇昭さん【93歳】

獣医師をされていた勇昭さん。“先生！”とみんなから親
われていました。奥さんをはじめ、家族をいつも大切に想い、
可愛いげもある男らしさは、私達男性職員の憧れでもありま
した。世知辛い日常に灯りをありがとうございました。

《担当 菊池直樹》



紅葉狩りドライブ♪

閉塞感漂う中、紅葉のお力に気持ちを癒して頂きました♡



想... 災害を捉える ***福島の今を拝聴します***

『追弔のこころ』… 相馬市 八幡朋行さん

3.11から9年8ヵ月…。世界の事故や事件等、多種多様なニュースが飛び交う中、『追弔のこころ』と題して、連載中の八幡朋行様（相馬市）より一筆頂きます。

追弔のこころ

2011年3月11日、相馬市での観測としては過去最高となる、9.3メートルの津波が確認されました。その観測地点近くの尾浜に、津波による犠牲者から8人のご芳名を記した追悼所と慰霊碑があります。死者のことを思い、ため悲しく追悼と、死者の霊を慰める慰霊は、見送りし者や、在りし日と亡き人を思ひぬかなく行いで、大切にしなければならぬことだと思えます。

その追悼と似た言葉で、追弔という表現があります。もしかすると同じような意味で捉え、さほど区別なく使われたり、気にも留めない方もおられるかも知れません。私は自分なりの思いをもって、追悼ではなく、あえて追弔というところを大事にしています。それは震災後、ご遺族との関わりの中で、教えられ気がつかされたことがあったからです。

繰り返しますが、いたみ悲しみ、霊を慰める行為は大切ですが、そこには、こちらから死者に対して何かをするという才向性を感じ

いられません。追弔との違い、弔うという時には、こちらが弔いに訪問した瞬間に、死者からの報せを聞くことがあり、そこに双方向性が認められます。

親鸞聖人は、

「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え」と

とのお言葉を丁寧にお読みいただいております。まさに私や訪うに先立って、前の者からの導きがあり、その報知を聞き、さらには聞きおよんだ報せに応え報いる生活を賜わります。

3年前、東日本大震災の津波で父親を亡くした当時12歳のお子さんが、お父様の七回忌のご法事に、父親が身に着けておられたという礼服に袖を通しお参りしてくれました。大学に進学しようとする彼は、ご法事を終えた時、父親の身の丈と同じになりながら、未だ父の懐に包まれていたような、背中を押す父からの強いメッセージを聞いたような表情になっていました。

相馬正西寺

八幡朋行



相馬市尾浜ある追悼所と慰霊碑。彼の父親の名前も刻まれている。

☆市外局番☆
 (0197)
 81 1313 (ひなたぼっこ)
 81 1616 (湖畔の宿)
 82 3939 (FAX共通)

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
 住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

※今月の登録者の方々 20 名様です♪

紅葉見頃の时节です♪「ひなたぼっこの日常」



- ① 夜間防災訓練
- ② 上野々地区サロン
- ③ 栗拾い散策
- ④ 西和賀高校生「仕事の意義」調査

★ 光寿苑、☆ ひなたぼっこ

寄贈

- ★ 高橋 稔 様 [分 沢]
- ★ 高橋 明夫 様 [湯之沢]
- ★ 和賀クリーニング様 [北上市]
- ★ 博愛の園 様 [大阪府]
- ☆ 羽柴 忠夫 様 [樺 沢]
- ☆ 熊谷 富夫 様 [湯 本]
- ☆ 菅原 康悦 様 [滝沢市]
- ☆ 北 島 正敏 様 [宮城県]

ボラ・訪問

- 夕食介助お手伝い (10/1~10/31)
- ★ 匿名 様 [湯 本]
- 利用者の理美容 (10/3)
- ☆ 藤田 陽子 様 [川 尻]
- 夜間防災訓練 (10/30)
- ☆ 西和賀消防署員 様 … 3名

今日も光寿会へのご支援 ありがとうございました



左は和賀クリーニング様よりお米1俵 右は博愛の園様より丹波の黒豆

第84回

第84回目は、今年度事業もお休み中の家族会について、この度は苑長が語ることで致しました。

元気です！家族会♪

高齢者施設では、お年寄りや家族が自然体で関わる事のできる行事等が一切できない世情にある今年。県内に感染者が出た夏からは、一時緩和された面会も町内の方のみとさせて頂く状況となっていた。

現在、ようやく町外在住のご家族へ身元引受人またはそれに準ずる方等への面会が県土を超えても可能となった。

ただし、お住まいの地域から感染者が出れば、面会は再び見合わせる必要が出てくるため、緩和されているうちに会えるか否か？；お気持ちも急いでおられると察している。

何ヶ月ぶりに会えた方々は涙を、また一方では会えないでいる他のご家族や親類に元氣な姿を見せたいからと、写真撮影を願う方もいる。



〓 昨年の奉仕活動の様子 〓

まだまだ判約が多い状況ではあるが、コロナ禍によって、お互いの存在価値を感じている今だからこそ、どうしたら再会させてあげられるか奮闘中である。

太田宣承

コロナ対策の今...

ご家族との面会をより安全にと願い考え続けております。



《新型コロナウイルス緊急対策会議(14)》

日時	2020年11月6日 14:21~15:24	出席者	苑長、細川、るみ子、洋也、 健、久美子(事)、真理子、 奈々子、直樹、春美(春)
----	---------------------------	-----	--

【主な議事内容】

- 【家族等の面会について】
 ① 面会内容は以下の通り。
 ② 面会人数は2名まで
 ③ お年寄りからみて2週間に1回の面会サイクル
 ④ 10月29日より町外在住(県外も含む)の家族の面会も可
 ⑤ 以下の1つの条件を満たした場合面会が可能
 (1) 直近2週間、コロナ感染者『0』地域に在住の身元引受人と同居家族等
 (2) 同居していない場合等の家族に関して面会依頼あった場合には個別検討をその都度行う事
 (3) 報道等で仮に「1名感染」となった地域在住の方であっても、感染経路が特定されており、また前述の感染者が出た日から数日他の感染者が出ていない、さらには前述の感染者と一切関係していない事が顕かな家族の場合は、発生から2週間絶たなくとも『面会可』と捉える事が可能。いずれにしても、その都度、報道相を密にし判断していく。
 (4) 直近の2週間の体調良好・感染蔓延地域に関わる行動歴がない
 ⑥ スクリーン越しの面会
 (1) 感染予防の意識定着のため、ご家族には毎回、『面会する人の心得8ヶ条』に目を通して頂いた後にチェックをして頂く。
 (2) 面会後は、スクリーンやシート等、除菌シートで消毒。
 ⑦ その他「看取り期、終末期の場合」は緩和対応ができる。
 ⇒ 2週間に1回の面会サイクル等に縛られず面会可能。

『体表面温度計測顔認証リーダー』は、素早い検温&マスクをつけていないと注意を促す優れモノ！

上記は直近の会議録の一部

光寿会の日々 259号♡



イラスト：1000

認知症の深い方であっても、関わる私たちの表情、雰囲気をよく見ておられる。むしろ、あれこれ頭で考えず、素直に感性で観察される方々の察知力は深い。だからこそその方から受け容れて頂けたと感（あ）いられた時は嬉しい♡

安心立命（あんじんりゅうみよう）

心を安んじて如来の命に立つ

《仏典より》

第58回 マルタン房

自然法爾（じねんほうに）

まだ幼い弟が二人。お寺のことなど、心配事が山ほどあったと思うのですが、何の心配もしていないと言ったという。

私はこれを聞いて初めて、道徳を亦む者にもたらされる「安心立命」という心境を知ったのでした。

それまでもその後も、私は「世間」という人間世界を生きてきたのですが、父の生き様に出会ったその時に、私は「世間のシステム」を超えて、世間を生きる生き方を獲得出来たように思います。

父と同じ道を生きて79歳です。残された日々はあまりないな、と思うこの頃です。

父は「世間」という人間世界を生きてきたのですが、父の生き様に出会ったその時に、私は「世間のシステム」を超えて、世間を生きる生き方を獲得出来たように思います。

父と同じ道を生きて79歳です。残された日々はあまりないな、と思うこの頃です。

父は「世間」という人間世界を生きてきたのですが、父の生き様に出会ったその時に、私は「世間のシステム」を超えて、世間を生きる生き方を獲得出来たように思います。

父と同じ道を生きて79歳です。残された日々はあまりないな、と思うこの頃です。

父は「世間」という人間世界を生きてきたのですが、父の生き様に出会ったその時に、私は「世間のシステム」を超えて、世間を生きる生き方を獲得出来たように思います。

マルタン房 丸田善明 師

おわりに

コロナ、米国大統領選、事件等々、多方面のニュースが世間に飛び交う中、勇み足的報道により、民が傷つけられる事も後を絶たない。例えば、春の高校総体開催消滅のビッグニュース。岩手県高体連等の重役会議で結論が出た瞬間、マスメディアが即座に世間にバラまいてしまった。その時、県内学校長や学校側は一切知らされておらず、主役の高校生たちはその報道に大きなショックを受け混乱した。現場に生きる人々の大切な内容程、現場で丁寧なケアしながら受容れていくべきものであり、勇み足の発信により、悲嘆している人がいる事も忘れてはならない。



※西和賀の県交通廃止の報道もそうでした